

| | | |
|---------------------|---|---|
| <p>新しい資本主義・経済政策</p> | <p>総裁選前は、新自由主義からの脱却や所得倍増など、アベノミクスとは違う道を目指すと述べていた。ところが、総裁選では、経済運営の基本は、「大胆な金融政策、機動的な財政政策、成長戦略の推進に努める」と安倍政権の「3本の矢」を掲げ、格差是正や分配重視を前面に押し出し、「中間層への手厚い分配」を実現するとして「令和版所得倍増計画」を掲げた。そして「成長と分配の好循環」が重要として、株式の売却益など富裕層への「金融所得課税の強化」を掲げた。</p> | <p>所信表明、代表質問等で、新しい資本主義の中身は空っぽであることが明らかに。具体化は「新しい資本主義実現会議」に委ねられた。 「金融所得課税の強化」については10日、「当面、金融所得課税に触れることは考えていない」、11日には「分配政策としてやることはたくさんある」と発言。「令和版所得倍増計画」はいつの間にか消えた。</p> |
| | <p>総裁選では、「成長と分配の好循環」が重要として、「分配なくして次の成長もない」。これもまた偉大な事実だ」財源は「当面は国債に頼らざるを得ない」と謝金しても分配を優先するとした。</p> | <p>10日「成長なくして分配はない。まずは成長をしっかりと考えていく」と成長優先に180度転換。11日には「『成長も分配も』が基本だ」と発言。 ちなみに、「成長と分配の好循環」は、安倍氏が国会で55回使った常とう句。</p> |
| <p>コロナ対策</p> | <p>総裁選では、菅政権が掲げてきた「病床と医療人材の確保」「2回のワクチン接種、さらに3回目のワクチン接種」等の政策を並べた。そして、予約不要の無料のPCR検査所の拡大を掲げ、「健康危機管理庁(仮称)」の創設を掲げた。</p> | <p>所信表明では、感染爆発を招いた無為無策の対応に反省なし。医療・検査体制の抜本的拡充や暮らしの支援強化にも具体的な裏付けを示めせず。 「予約不要の無料検査の拡大に取り組む」と表明したものの、「健康危機管理庁(仮称)」は触れず、「司令の搭載機能の強化」にとどめた。</p> |
| <p>選択的夫婦別姓導入</p> | <p>首相は「選択的夫婦別氏制度を早期に実現する議員連盟」の呼びかけ人で、積極的でした。</p> | <p>選択的夫婦別姓は「国民の間に様々な意見がある」。同性婚制度は「極めて慎重な検討要する」と一転、消極的に。</p> |
| <p>子ども庁</p> | <p>子ども政策を統括する「こども庁」創設に向け、野田聖子元総務相を担当相に起用。</p> | <p>どうしてか、所信表明に「子ども庁」を盛り込まなかった。</p> |
| <p>党改革</p> | <p>総裁選前までは、「党役員任期の1期1年、連続3期まで」等と主張</p> | <p>閣僚人事からも明らかのように、安倍氏と麻生氏の「長老政治」が色濃くつきまとう「傀儡政権」。</p> |
| <p>憲法改正</p> | <p>総裁選では、4項目を「重要な課題」と位置付け、「総裁任期中に実現を目指したい。少なくともめどは付けたい」と踏み込んだ。</p> | <p>所信表明では、国民投票法が改正された。今後、憲法審査会において、各政党が考え方を示した上で、与野党の枠を超え、建設的な議論を行い、国民的な議論を積極的に深めていただくことを期待するとした。</p> |

このように、岸田首相は「特技は人の話を聞くこと」と胸張りますが、国民の声は聞かず、3Aや大企業の話聞くだけで、まるで3Aと大企業の「御用聞き」のようです。安倍、麻生、甘利氏の顔色をうかがい、コロコロ・クルクルと政策を撤回・変更しています。

そして、自民党の公約づくりを取り仕切ったのが高市政調会長です。公約を見ると、「危機管理投資」や「GDP比目標2%以上も念頭に防衛関係費の増額を目指す」ことが盛り込まれており、高市氏が総裁選で掲げた主張、すなわち後ろにいる安倍元首相の主張が目立つものとなっています。

こんな対応をする岸田首相に、宏池会の前会長古賀誠氏は、「保守本流の政治を基本にして考えていただかなければいけない。宏池会はあくまで憲法に流れる平和主義、基本的人権、主権在民、これだけは堅持すべき」と主張。そして、「正直おっと驚きますよ」と「**敵基地攻撃能力も有力な選択肢**」などと発言したことを指摘。総裁選で勝利した経緯を踏まえ「いつまでもその人たちの言い分を聞いていか

なきやいけないというのであれば本末転倒だ」と述べてきました。さらに、古賀氏は、マックス・ヴェーバーの「職業としての政治」を引用し「悪魔と握手してそれを達成するというのも責任倫理だとマックス・ヴェーバーは言っているんですね。しかし、その悪魔の言うとおりになったら本末転倒で、それは許せません」と持論を述べました。

総選挙で岸田政権を継続されたら、私たちの生活を一層破壊させてしまいます。これを許してはなりません。19日公示、31日の総選挙で自・公・維新に鉄槌を下して勝利し、新たな政権を誕生させ、国民のいのちと健康と暮らし、生業を守る政治、憲法を守り生かす新しい政治を実現させましょう。

岸田内閣 日本会議国会議員懇談会など改憲右翼議連に17人

しんぶん赤旗の報道によると、4日発足した岸田新内閣のうち、岸田首相ら自民党籍の閣僚計20人中17人が「靖国」派改憲・右翼団体と一体の二つの議員連盟のうちのいずれかに加盟していたことが明らかになりました。岸田内閣は、歴史修正主義にもとづく改憲・右翼政治推進の役割でも、「安倍・菅直系」です。

閣僚らが加盟する「日本会議国会議員懇談会」と「神道政治連盟（神政連）国会議員懇談会」は、それぞれ改憲右翼団体の「日本会議」、「神道政治連盟」と一体の議連です。両団体とも、日本の過去の侵略戦争を「自存自衛」「アジア解放」の“正義の戦争”として肯定・美化してきた靖国神社と同じ立場から、「憲法改正」や、天皇・首相の靖国公式参拝を求めるなど、戦前への回帰を志向。ジェンダー平等や選択的夫婦別姓制度の導入には断固反対の立場です。

岸田首相も両議連に加盟し、同党総裁選でも同党の改憲4項目を実現すると表明。日本外国特派員協会での記者会見（9月13日）では、靖国神社参拝について、「国のため尊い命をささげた方々に尊崇の念を示すことが政治家にとって大切な姿勢だ」と発言しています。

主要閣僚では、萩生田光一経済産業相が日本会議国会議員懇談会の政策審議副会長を、岸田氏は副幹事長を務めています。また、初入閣の末松信介文科相と古川禎久法相は、副幹事長と幹事をそれぞれ務めています。

| 閣僚▼一初入閣 ▽再任 | 日本会議 (※1) | 神政連 (※2) |
|--------------|--------------|-------------|
| 岸田文雄首相 | ● | ● |
| 金子恭之総務相▼ | ● | ● |
| 古川禎久法相▼ | ●幹事 | ● |
| 茂木敏充外相▼ | ● | ● |
| 鈴木俊一財務相 | ● | ● |
| 末松信介文科相▼ | ●副幹事長 | ● |
| 後藤茂之厚労相▼ | ● | ● |
| 金子原二郎農水相▼ | | ● |
| 萩生田光一経産相 | ●政策副会長 | ● |
| 山口壮環境相▼ | | ● |
| 岸信夫防衛相▼ | ●副幹事長 | ● |
| 松野博一官房長官 | ● | ● |
| 牧島かれんデジタル相▼ | | ● |
| 西銘恒三郎復興相▼ | | ● |
| 二之湯智国家公安委員長▼ | | ● |
| 野田聖子地方創生相 | ● | ● |
| 山際大志郎経済再生相▼ | ● | ● |
| 小林鷹之経済安保相▼ | ● | ● |
| 堀内詔子五輪相▼ | ● | ● |
| 若宮健嗣万博相▼ | | ● |

岸田内閣の靖国派改憲右翼団体系

議連加盟状況

自民党所属閣僚のみ ☒=加盟

※1 = 「日本会議国会議員懇談会」
 ※2 = 「神道政治連盟国会議員懇談会」

加盟状況や役職は本紙入手の両議連の名簿や日本会議の機関誌から。名簿登載後の入退会などは反映していません。



お知らせ

第71回「19日行動」10月19日(火)18:30～

場所：衆議院第2議員会館前を中心に（国会図書館方面も御利用を）

共催：戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会

安倍9条改憲NO！全国市民アクション